

SHIN CLUB 307

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



今月のトーク/monthly talk

「ESCENARIO 市谷薬王寺」撮影：アック東京

風情のある新古

写真は、8月に竣工いたしました「ESCENARIO 市谷薬王寺」です。新宿区にある市谷薬王寺町は区の中東部に位置し、外苑東通りが南北に縦貫している通り沿いには、高層建造物や商店などが見られますが、1歩なかに踏み入れると閑静な住宅地となっています。「丁目」の設定がない単独町名として有名で、地名の「薬王寺」は、外苑東通りに面した寺院に由来していますが、明治維新のときに廃寺となり、法灯は文京区大塚の護国寺に移されました。現在、当地に薬王寺という寺院はありません。その他にも多くの寺が存在し、今でも蓮秀寺・長厳寺・浄栄寺・長昌寺など、多数の寺院がその姿のままこの地に残っています。

そんな歴史ある街のなか、浄栄寺のお隣に「ESCENARIO 市谷薬王寺」は竣工しました。街の歴史と仏閣の雰囲気漂う空気感を損なわないよう、建物計画をおこなうこととなった木下道郎 / ワークショップの木下道郎氏は、その特色に着目し設計されたそうです。

「この街自体が特殊で、細い道のなかには多くの寺が残って味わい深い一方、近未来な建物も建っている。『薬王寺』という名前だけが残り『西新宿』とはならなかった。そして計画隣地には「浄栄寺」が建ち、上からのぞくと「築地（つじ）」の立派な瓦が見えるんですよ。設計する上で1番気を使ったところですよ。そのようなポテ

ンシャルの地にどうやって折り合いを付けるかがポイントでした」と語る木下道郎氏。

行きついた先は、「ブレーンなもので街に溶け込ませる」という設計。しかしながら建物と街が分断しないよう、その接続には意識を向けています。

「建物と街並みに接続している部分であるエントランスのアプローチと植栽にはとても神経を使いました。押え目にした植栽からは浄栄寺の築地（つじ）が覗け、その誘いのままアプローチへ足を踏み入れると、エントランスにはシンプルな作りに映える立派なけやきの一枚板。まるで高級な旅館を彷彿とさせるその空間には、この街の醸し出す雰囲気が不可欠で、その相乗効果によって建物打ち放しのシンプルさが際立ちます。逆に言えば、躯体の完成度が建物のランクを決めてしまうため、躯体工事は難しかったと思います。ですがやはりRC造建築の辰さん。とても綺麗に躯体が出来上がり、建築仲間にも一目置かれる出来栄でした。ありがとうございます」

古いもののなかに新しいものが生まれるのは世の常。古き良きものは残し、それらを尊重しながら新しいものとの調和を生むのは建物造りならではのかもしれません。

ESCENARIO 市谷薬王寺



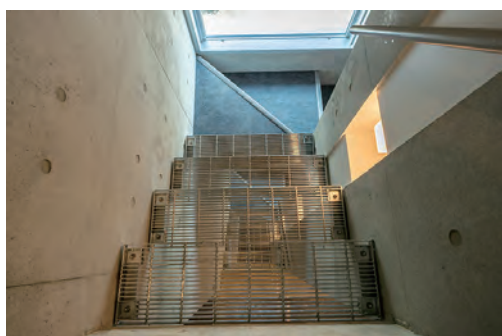
建物全景



アプローチタ景。寺の甘露門が見える



エントランス。けやきの高級感を引き立たせる設計



階段室見下。グレーチングの先まで目線が落ちる

垂直と直線の洗練美

歴史ある市谷薬王寺町に、街の雰囲気をも崩さず溶け込ませるような建物計画をおこなった。

計画地の最大のポテンシャルとして、隣地にある「浄栄寺」。その建物も素晴らしく趣ある姿に、新しく建てる建物も、隣地に建つに相応しいものにするにはどのようにするか思考した。

そんなとき、事業主が所有していた立派なけやきの一枚板に着目。いつか時期が来たときに使用しようと保管していたものを思い出し、街の雰囲気、浄栄寺の重厚感。この建物と調和させるにはうってつけだと考えた。設置場所は、建物の顔であるエントランスに他ならない。年輪の位置などを吟味し、現場合合わせをおこないながら、1番表情が表れる位置でカット。その場で加工、設置などをおこない、最高の状態で配置することができた。

階段室の踏板は、底が見えるグレーチングを採用。照明の面落ちが階段室の奥深くまで届き、奥行とストレートのラインを美しく表現。また、ハレーション面をホワイトにすることで、柔らかく反射した光が堅穴を綺麗に抜けるよう意識している。法規上ギリギリの寸法で設計したが、前記の演出によって「魅せる階段室」となった。

階段室をギリギリまで省いた分、室内などの大切なところは広く取り、開放感とアレンジのしやすい自由空間、さらに最上階は遊び心を散りばめた室内計画となっており、そのメリハリのある考え方は、ワークショップ時代から変わっていない私の設計ポリシーである。

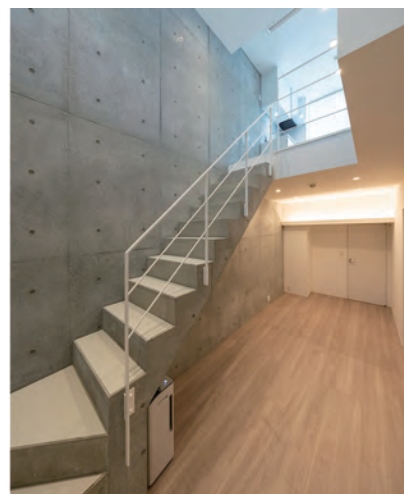
今回の計画では、シンプルで且つ街に溶け込みやすいデザインをテーマとして設計しているため、各空間に存在する「垂直・直線・整い」が非常に重要であった。故に、打ち放しコンクリートの出来が、建物のグレードを大きく左右する現場であったが、出来上がりを見てみるとほとんどの垂直・直線が美しく表現されていた。現場を納めてくれた小坂所長をはじめ、黄係員、古賀係員、型枠大工、打設工、仕上げ塗装工など、多くの人たちの細かな気遣いとプロの技が光った現場だと強く感じ、「こだわり建築の辰さん」の名がまさしく表現された建物だと思う。

街の雰囲気を取り込み、敷地のポテンシャルを活かした「ESCENARIO 市谷薬王寺」は、その歴史と共に、これからもこの街にあり続けていく建物である。

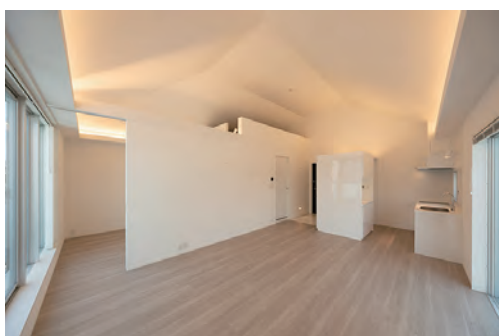
(木下道郎 / ワークショップ / 木下道郎氏 談)



地下階。垂直が綺麗に納まった内壁が洗練を向上させる



窓からの採光で、閉塞感を軽減させた地下階



最上階。ハレーションの効果で天井が高く感じる

構造：RC造
規模：地下1階・地上4階
用途：共同住宅13戸・長屋1戸
設計：木下道郎 / ワークショップ
竣工：2025年8月
施工担当：小坂・黄・古賀 / 谷田チーム
撮影：アック東京

初台 1 丁目プロジェクト



建物全景。ランダムに設置された L 形アングルルーバーが目立つ



建物夕景。温かな灯りが漏れる



エントランス



散水装置を設置した植栽



動きを感じるファサードディテール

緑が息吹く新たなランドマーク

初台といえば、東京オペラシティや新国立劇場など、文化・ビジネス施設が充実しているオペラシティ側を想像できるが、反対側に位置しているこの計画地に、初台を語る上での新たなランドマークとなるような、建物計画をおこなった。

計画地は非常に間口が狭く奥行きが深かったため、塔状比の関係で高さや規模などの大枠は決まってしまった状態での計画となったが、その状況下でも印象に残りながら周辺環境との接続を意識した。

事業主からの要望であった、「街に影響を与えるような新たなランドマーク」をファサードとするため、いろいろなデザインを考えた。

当初は都市的な洗練された直線・曲線のラインのファサードデザインも計画したが、もっと動的で、動きが感じられるようなデザインへ変更。また、近くに幡ヶ谷方面まで続く緑道があることから、緑道への接続も意識し、現在の緑を取り入れたファサードデザインとなった。

L 形のアングルをルーバーに採用しているが、その長さ、巾、設置向きを計算しながらランダムに設置。そうすることで、建物を見る方向によってアングルの見える巾が変化し、見る人によって建物の印象が変化するように工夫した。

各フロアはスケルトン・事務所仕様の内装となっているため、シンプルではあるが、最上階からは首都高や都心の街並みも眺望でき、開口部は他の階より大きく取ることで開放感を演出している。

新宿に近くアクセスの良さがあしながら、昔ながらの商店街と近代的な文化施設が混在する、落ち着いた住環境が特徴の初台。

周辺の住民に限らず、多くの人々に「あの緑のある建物ね」と言われるような新たな街のランドマークとして、人々の心に留まる建物になることを願っている。

(ツチヤタケシ建築事務所／土屋毅氏 談)



共用階段部納め



エレベーターホール



事務所仕様のテナントフロア



最上階フロア。大きな開口が開放感を演出

構造：S 造一部 RC 造
規模：地下 1 階・地上 7 階
用途：飲食店＋事務所
設計：ツチヤタケシ建築事務所／土屋毅・大谷一平
竣工：2025 年 7 月
施工担当：田所／村山チーム
撮影：木谷元

TOPICS/INFORMATION

「夢にときめけ！明日にきらめけ！」 SBC “辰 Baseball Club” 活動レポート

— 令和7年度渋谷区民秋季軟式野球大会 —

クラブ発足後、初の公式戦勝利を飾りました！

9月14日(日)、弊社の軟式野球チーム「SBC」が「令和7年渋谷区民秋季軟式野球大会」の初戦に出場しました。

9月に入っても、なお残暑厳しい日が続かなか開催された本戦。幸いなことに穏やかな陰りによって暑さが軽減され、体調的にも気持ち的にも救われた試合となりました。

初戦の相手は、社会人野球チームの「SPRITS」。過去の戦歴から見ると、SBCと肩を並べるほど、手ごわいチームが相手に、開戦前から緊張が走ります。



終始にこやかなベンチ

初秋を感じられる天候のもと、両軍整列をして試合開始です。

1回の表、先攻SBCの攻撃。試合開始直後から魅せます。先頭打者の痛烈なレフト前ヒット。その後、2死を許してしまうも、4番総務部佐々木によるヒットで一・二塁のチャンスを迎えます。迎えた5番バッターの打球はレフト方向へ大きく伸び、初回3点獲得。守備へ回ったSBCは、ピッチャーの華麗な投球により、相手打者を完全完封。走者を出すことなく3-0で1回を終了します。

迎えた2回。好調な滑り出しをみせるSBCに、1死・満塁の状態、10番バッター第2建築部徳永が打席へ。フルスイングからの痛烈なタイムリーヒットで2点を追加。その後二・三塁のチャンスから1番バッターの芯を食った打球はセンター方向へアーチを描き、3点が加算されました。その後2死により攻守交替。2回裏守備のSBCは、ピッチャーの抑え込みで得点を許さず、8-0で3回を終えました。



続く3回表。二・三塁のチャンスに8番バッター



笑顔で帰還する第2建築部 折田

剛球で相手を封じ込めるの打球は三遊間を抜け、1点追加となります。4回表では、無死・三塁の状態、相手のフォアボールが続かなかバントを決めると、三塁を飛び出した第1建築部の井田。豪快なスライディングでホームベースを捉えようしましたが、わずかな差でタッチアウト



初の公式戦勝利に満面の笑み

ト。スクイズ成功とはなりません。その後一塁走者が帰還し1点追加。

4回裏、守備へ回ったSBCですが、疲れが見え始めたのか、相手打者の痛烈なレフト前ヒットにより走者一塁へ。その後も失策によって、無死・一・二塁を許してしまいます。続く相手の3打席目。打たれた打球



好守で相手を封じる井田

田によるお手本のような送球により、一塁をアウトに押え込みますが、1失点。最終局面を迎えたSBCにとって、ここが踏ん張りどころです。1死・二塁で迎えた相手の4打席目。最後の力をふり絞った投球に、相手打者は芯を外し、転がる打球となってしまう2アウト。二塁を走り出した走者は、セカンド井田によりタッチアウト。10-1でSBCのコールド勝ちで試合は終了しました。

クラブ設立から4年越しで、初の公式戦勝利を納めたSBC。残念ながら、第二回戦では6-0と敗戦してしまいましたが、今回の初勝利は、今後のSBCの活動に大きな影響と自信を与えてくれることとなる



10-1で辰のコールド勝ち

でしょう。目指せリーグベスト4！これからの活動も随時追っていきます。

【SBCへのご参加・試合他お問合せ】

(株)辰 担当：佐々木・笹原

TEL：03-3486-1570

メール：shinfo@esna.co.jp

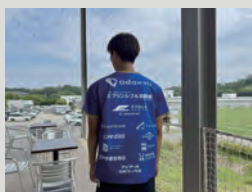
皆さまのご参加お待ちしております。

「まちだ青城祭」が開催されました VS セレッソ大阪 2025年8月16日(土)

— 町田 GION スタジアム —

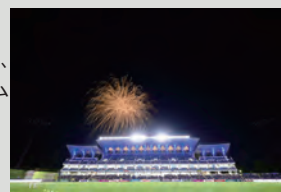
8月16日(土)、弊社がオフィシャルパートナーをしているプロサッカーチーム「町田ゼルビア」主催の夏祭りイベント「青城祭」が開催されました。

会場では、青城祭限定のユニフォームが来場者に配られ、背中には本イベントに協賛した



会場で配られた限定ユニフォーム

証である辰のロゴが記載されていました。18時キックオフとなったセレッソ大阪戦は、3-0と華々しい勝利戦となり、ハーフタイムにはバックスタンド側に花火が打ち上げられました。シーズンも半分を終えました。最後まで社員一同、応援していきます！



ハーフタイムで打ち上げられた花火

編集後記

・ようやく秋らしい気候になって参りました。そんな秋空のなか、10月1日(水)辰は設立26周年を迎えることができました。この日を迎えることができたのは、多くのお客様、設計者のご寵愛とご愛好に他なりません。心より感謝申し上げます。今後も皆様の想いの詰まったこだわり建築を建設し続けるため、さらに精進して参ります。

(株)辰 通信 Vol.307 発行日 2025年10月10日

編集人：本間夏来/土屋祐一郎 発行人：岩本健寿

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-8-10 JS 渋谷ビル5F TEL:03-3486-1570

FAX:03-3486-1450 E-mail: daihyo@esna.co.jp URL:http://www.esna.co.jp



「SHIN CLUB」はWEB上でもご覧いただけます。

バックナンバーもPDFで掲載しています。

スマホはこちらから→

